

A-PARTNERS

足立区 NPO 情報紙

つくる。つながる。ひろがる。

No.40

2022年12月15日発行

街を
元気に

若い力
が街を
変える



特集

若い力が街を変える 学生が活躍する地域活動
中学生が防災学習会を実施

LILA子どもの学びを支援する会 リエゾン・アダチ

トピック

○聞きたいあなただけのストーリー ぶんこ食堂

○センターピックアップ 女性を応援するSHINE

○頼って!おいでよ!子育ておまかせ処
たんぼぼ会
アフォール

○コラム スタッフのつぶやき

編集・発行 2022年12月15日 足立区 NPO 活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田 7-13-1 (梅田図書館1F) TEL:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333 担当所轄: 足立区協働・協創推進課 協働・協創推進課担当 TEL:03-3880-5020

足立区



子どもの居場所

子育て支援

安心して暮らせる環境や仕組みづくり

頼って!おいでよ! 子育ておまかせ処



NPO 法人
たんぼぼ会

主な活動場所: 足立区千住大川地域

お問い合わせ: kazushi-nakamura@totokyogikai.jp

高齢者支援や子育て支援でつながる

活動内容

2016年9月に高齢者や子どもたちが
地域でその人らしく住み続けられる街づ
くりを目的に発足。足立区を中心に子ど
も食堂たんぼぼ、無料学習塾たんぼぼ、
高齢者を対象にした食事会やフレール予
防の健康体操などを行なっています。

メッセージ

地域で高齢者と子どもたちとの
交流により、活気のある街づくりに
少しでもお役にたてばと考えてい
ます。そのために地域の皆様のご
協力をお願いします。



特定非営利活動法人
アフォール

主な活動場所: 足立区伊興2丁目

お問い合わせ: <https://www.afolweb.org>

子育てを楽しもう

活動内容

「にっこり子どもひろば」を開催して
います。子どもの体験遊びとして、染め
物やダンボール遊び、味噌づくりなどを
通じて、スタッフや友だちとのナメの関
係づくりを目指しています。食材配布の
フードパントリーも同時に開催しています。

メッセージ

ボランティア募集中! 子どもと遊
んだり、食材運搬配布を通じて、
子育てを見守りましょう。伊興セン
ターにて第三木曜日に開催してい
ます。



「くわしく聞きたい!」
「自分も何かが始めたい!」
と思ったら...

地域にどんな活動があるのかな?
私にも何かできるかな?
もっといろいろ知りたい!!
と思った方は、
足立区 NPO 活動支援センターに
アクセスしましょう。

あだち
協働
パートナー
サイト

Twitter

Facebook



〒123-0851
東京都足立区梅田七丁目13番1号
TEL:03-3840-2331
adachi-npo-center@machikatsu.co.jp

スタッフのつぶやき

相談員をしているとさまざまな個人の「想い」に触れます。

NPO に大切なのは「想い」です。「地域でもっと多世代で遊べ
ばいいのに」「昔は綺麗だったあの川を取り戻したい」「もっと街のお
年寄りを笑顔に」などなど。

私たちの仕事は「想い」を「形」にするお手伝いです。「やりたい
ことはあるが、やり方が分からない」「活動を始めたが行き詰まって
しまった」など、具体的ではなくてもいいので、悩みが出てきたら
いつでも相談に来ていただけたら嬉しいです。

「想い」はひとつでも「やり方」はたくさん。それを一緒に考えて
いける、足立区 NPO 活動支援センターはそういう場所です。

(相談員: 秋本)

*** 足立区 NPO 活動支援センター開館日・開館時間 ***

開館日: (火)~(日)

開館時間: 午前9時~午後9時30分 (月末の平日は午後5時まで)

休館日: (月)、(祝)、年末年始

特集 若い力が街を変える 学生が活躍する地域活動

自分の頭で考えて、行動する。そんな子どもたち、若者たちが、足立区で大活躍。今回、特にホットな活動を展開する中学生の「災害学習会」、大学生の「子ども食堂」、小学生の「キッズボランティア」を取り上げます。どんな内容、課題、思いを抱いているのかを聞いてみました。

中学生が防災学習会を実施 足立区を災害から守る「知恵」を伝えたい

LILA子どもの学びを支援する会 リエゾン・アダチ

SDGsを3年学び、水害・地震の学習会を企画
荒川が氾濫するのでは……。4年前、台風19号が発生したとき、多くの足立区民の方々がヒヤリとしたのではないだろうか。そのときに受けた強い危機感から、水害と地震の学習会を、区民向けに企画している子どもたちがいます。「NPO法人LILA子どもの学びを支援する会 リエゾン・アダチ（以下、リエゾン・アダチ）」のメンバー、現在中学2年生の小丹枝環さん、鈴木愛都さん、富田陽菜乃さん、渡邊航太さん（五十音順）です。区内施設で開催予定の「水害学習会」（12月10日）、「地震学習会」（2023年2月19日）の準備を、彼ら4人と、もう一人のメンバーの鈴木彩葉さんを含めた5人が中心になって進めています。

取材に同席したリエゾン・アダチ代表の鈴木雅代さんに何うと、当企画は「リエゾン・キッズプロジェクト」の発展形であるとのこと。

「同プロジェクトは、足立区公益活動げんき応援事業助成金の採択を受けた事業です。助成金で子どもたちがSDGsについて学ぶ場をサポートしてもらいました。片野和恵前代表が講師となり、専門家を招き、ワークショップも行いました。小学4年生だったこの子たちが6年生になる3年間で一旦終了。そして今年、学びを生かし、子どもたち自身が企画立案から実施までを行い、学習会を開催する事業をげんき応援事業助成金に申請して採択されました」。

災害に弱い足立区を「なんとかしなきゃ！」

SDGsとは、2015年に国連総会で採択された持続可能な開発のため世界共通の目標です。中学生たちは、1年目に「災害」「環境」「ゴミ」「貧困」、2年目に「水問題」、3年目に「難民」について学んできました。

では、どうして区民向け学習会のテーマに、あえて「災害」を選んだのでしょうか。

「台風19号を経験した小学4年生のとき、同プロジェクトでの講座で、足立区が水害に弱いことを知り、強い印象を受けました。もし水害が来たら、『私たちはこうすべき』ということを伝える必要があるなと思ったんです」（鈴木愛都さん）。「新型コロナウイルスの影響で、小学4年生当時と状況が変わっているの

新規登録団体紹介
現役大学生主催の子ども食堂
ぶんこ食堂
毎月第2日曜日、文教大学あだちキャンパス内で開催されているのが「ぶんこ食堂」です。今年の7月からは同大学内のボランティアサークル・Karon（カロン）と協力し、子どもたちの勉強のサポートをしながら、大学生と親子とが交流できる場を提供しています。

ゼミ内での問題提起からはじまった活動
代表の内田イオナさんが大学2年生の頃、コロナ禍で授業もオンラインとなりました。その中、所属するゼミ内で自分たちができることはないかと模索したところ、足立区内における高齢化、外国籍の子どもの増加、貧困家庭の現状を知り

ます。そのことが「ぶんこ食堂」を始めるきっかけになりました。

文教大学周辺に子ども食堂がないことから、先述した課題を解決するための場として活動を開始。区内外の子ども食堂などにボランティア参加をして学ぶうちに、大学内のサークルでは活動が限られるため、NPO団体の設立を決意。そして2021年12月、第1回目のぶんこ食堂が開催されました。「実際に運営していくことの難しさを痛感しつつ、当事者に近い存在になれたことのやり甲斐や責任を感じています」（内田さん）。

発足メンバーの卒業、その後の運営

十数名という限られた人数で献立作りから宣伝、調理、配布を行うぶんこ食堂の皆さん。取材日のメニューはハヤシラ

イスで、ハロウィンをイメージした色とりどりのカボチャの折り紙が添えられていました。「かわいい！」といった子どもたちの声から、新たな会話が生まれていくのも印象的でした。また「散歩がてらに寄って交流を楽しんでいる」と話してくれた年配のご夫婦も。「多世代・多文化交流ができる場を提供する熱意を後輩たちに引き継ぎ、卒業後もぶんこ食堂の活動には関わっていききたい」と話してくれた内田さんと副代表の二宮敏枝さん。大学生の想いから生まれ、たぶんこ食堂に期待が膨らみます。



前列左から二宮さん、内田さん、樋山さん
後列左から玉城さん、阿部さん

で、実際に避難するときの判断基準や流れを知りたいと思いました」（小丹枝さん）。「足立区基本計画に明記されている、「災害に強い安全なまちづくり」に貢献できるかなと思ったんです」（渡邊さん）。「最近、地震が増えています。いざ避難するときに、何を持ち出して避難すべきか、講師の方に教えてもらいたいです」（富田さん）。

学習会の講師には、足立区災害対策課の職員を招く予定。また、水害・地震学習会の後は、その知見をまとめ、「防災バック」を提案していきたいとのこと。



コロナ禍でも、オンラインで活発な意見が交わされました。

地域と世界を見すえて、自分で課題を考える

子どもたちの姿勢から、問題意識の高さと態度の良さを感じます。「ゴミの学習からポイ捨てを意識。環境問題については、『自ら考える』ことが、大切ではないかと思います」（鈴木愛都さん）。「講座で『水』問題を意識しました。飲食店で出される無料の水の貴重さも改めて実感。無限にはない水の大切さを伝えたいです」（渡邊さん）。「多世代交流に関心があります。ご近所の一人暮らしの年配の方などに、昔のことを聞いてみたい」（小丹枝さん）。「SDGsは2030年までに達成する目標です。みんなが意識を強めてほしいので、学習会に多くの人が参加くださればと思います」（富田さん）。



過去の事業の様子。「SDGs」の基礎を講師から学びました。

当事者意識を持ち、自ら考える若い力が、足立区で確実に育ってきています。ぜひ学習会に足を運んで、防災を学びつつ、子どもたちを応援していただければと思います。

注目の活動

センターピクマップ

夏休みの「ボランティアキッズ」活動 NPO法人女性を応援するシャイン

「NPO法人女性を応援するシャイン（以下、シャイン）」は、子どもの見守りを目的に2013年に設立され、子どもの居場所づくりや食支援活動などを行っています。その活動のひとつとして夏休みに行われたのが「ボランティアキッズ」です。

竹ノ塚屋台村協力のもと、小学1年生から6年生までの「ボランティアキッズ」が駄菓子店の値札付け、陳列、接客などの「店員」を体験。子どもが仕事を通じてお金を得る仕組みを経験し、働く楽しさを知ることが目的です。夕方になると足が痛いと言いがらも、充実かつ有意義な時間を過ごした「ボランティアキッズ」。シャインでは今後も様々な活動を行う予定です。

